

業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2025. 1. 22

No. 727

2025年春実施ダイヤ改正に 関する申し入れ交渉を行う

「共通」

1、今ダイヤ改正での増収見込みを明らかにされたい。

(回答)約18億円である

組合：見込みが達成出来るよう堅実な営業活動を進めて頂きたい。

私達は安全安定輸送に努めていく。

2、今ダイヤ改正での経費について明らかにされたい。

(回答)改正により経費削減効果は約7億円である。

組合：営業収益が増えても、それと比例して営業費用も増えている。いかに経費を削減するかが大きな課題あり、利益を増やすためにも鋭利な取り組みをお願いしたい。

会社：引き続き、安全等必要な経費は確保したうえで、効率的な輸送体系を検討していく。

3、今ダイヤ改正における基準人員と現在員を明らかにし、余剰人員の活用について明らかにされたい。

(回答)2025年度初における鉄道事業部門の基準人員は約4,200人となる見込みであり、現在員は、シニア社員(コースB:0.9人工換算)を含め約4,687人となる見込みである。基準人員を整えるのは会社の責任であり、引き続き必要な対策を行っていく

組合：退職や離職もあり要員不足の現場もある。安全安定輸送のためにも、現場の状況を常に把握し進めて頂きたい。

会社：一部系統では要員需給が逼迫していると認識している。引き続き、引き続き必要な対策を行う。

4、今ダイヤ改正におけるグループ会社基準人員と現在員を明らかにし、人員不足の場合における対応を明らかにされたい。

(回答)グループ会社の基準人員及び現在員は、グループ会社の責任範疇となる。

組合：要員不足が顕著な現場もある。JR貨物グループ全体で要員確保の取り組み強化をお願いしたい。

会社：グループ会社の要員確保については、引き続き連携し行っていく。

5、災害や大規模な輸送障害に伴う、BCP対策の進捗状況と計画を明らかにされたい。

(回答)主要幹線が長期にわたり不通となり、鉄道ネットワークが寸断された場合には、

①迂回運転の実施

②不通区間を挟んだ折り返し運転の実施、

③トラックや船舶を活用した代替輸送力の確保

④顧客・利用運送事業者への的確かつ迅速な情報提供が重要である。引き続き、社内を含めた危機管理体制の向上に努めていく。

組合：荷主からの信用を得るためにも、きめ細かな対応をお願いしたい。

会社：了解した。

6、新たな顧客やニーズの着実な取り込みを図る上で、会社に取り組んでいる対策を明らかにされたい。
(回答)物流の2024年問題が顕在化しており、自動車部品の列車単位の輸送オーダー、その他米や飲料水の大幅な増送がみられるようになった。これらのニーズを取り込める列車体系を構築する。

組合：収益は伸びていると聞いているが、JR貨物グループとして目指している位置はもっと高いはずである。更なる飛躍を構築するため営業活動を積極果敢に進めて頂きたい。

会社：ニーズを取り込める列車体型を構築していきたい。

7、収益性の低い列車は大幅に見直し、将来を見据えた大胆な改革を図られたい。

(回答)積載率のふるわない列車については効率化を図り輸送機材を生み出す。

組合：毎年のように言っているが、大胆な改革をお願いしたい。

会社：改革は否定するものではないが、まずは今ダイヤ改正において、既存アセットを最大限活用し輸送量の回復の取り組みを推進していく。

8、大型コンテナの取扱い拡大とあるが、今後は31ftコンテナが主流となっていくのか明らかにされたい。

(回答)ISO20ftタンクコンテナ及び31ftコンテナの需要は堅調で、今後もネットワークを拡大していく。

現時点、基本的に私有コンテナでの対応で考えている。

組合：荷主からの要望に答えるべく、良い商品を多く提供し、鉄道貨物輸送が安定的に継続できるように構築されたい。

会社：了解した。

9、設備投資について。機関車・コンテナ・フォークリフト、各種の投資額について明らかにされたい。

(回答)競争上の機密情報であり、個別な投資額については公表できない。

組合：了解した。

10、新製フォークリフトは、全てセミオートマ搭載になるのか明らかにされたい。

(回答)今後の増備については導入の効果を検証し引き続き検討する。

組合：会社の考えだけで進めるのではなく、現場の声を取り入れ進められたい。

会社：フォークリフトオペレータ等の意見を含めて今後の検討を行う。

11、セミオートマ搭載のフォークリフトでは、荷役作業時間が伸びると考えられるが、会社の考えを明らかにされたい。

(回答)フォークリフトに搭載しているセミオートガイダンス機能は、荷役作業のサポートする機能であり作業時間を比較する対象ではない。引き続き、駅構内荷役作業の安全性の向上と省力化に向けて技術開発を継続していく。

組合：現場の声をよく聞き進められたい。

会社：フォークリフトオペレータ等の意見を含めて今後の技術開発を行う。

12、フォークリフトオペレータ人員不足・作業負担軽減の対策を具体的に説明されたい。

(回答)フォークリフトの要員需給の逼迫による負担が改善するよう、グループ会社と連携し採用活用に取り組んでいる。

組合：要員不足が顕著な現場もあり、良い商品を提供・安全安定輸送のためにも取り組み強化をお願いしたい。

会社：グループ会社の要員確保については、引き続き連携し行っていく。

13、女性社員の現場配属が増えており、ストレスを感じさせない働きやすい環境整備を早急に図られたい。

(回答)女性社員の従事する職場の環境改善については、実態を把握した上で適宜行っていく。

組合：環境整備が他の会社と比較し大幅に遅れをとっていることは認識していると思うが、新規採用確保や離職防止のためにも早急に進められたい。

会社：計画的に実施していく。

14、業務体制見直しにより、要員見直し・職場廃止等があれば明らかにされたい。

(回答)要員見直し等については各支社にて別途提示する。

組合：了解した。

15、非現業では新たな勤務制度が導入されており、現場においても新たな勤務制度を早期に導入出来るよう計画を進められたい。

(回答)現場に拡大しない考えはない。具体策については勉強中である。

組合：他の会社では働き方改革が積極的に進められている。何か決まり次第教えて頂きたい。

会社：了解した。

16、シニア社員の労働条件緩和を明確化されたい。

(回答)雇用契約書による。

組合：人口減少により、若い労働者を確保することが困難になっていくことは明らかで、少しでも長くシニア社員を雇用することが重要であり、そのためにも働きやすい環境整備を進めて頂きたい。

会社：引き続き、JR貨物で就労してもらえようように努めていく。

17、今ダイヤ改正を確実に履行できるよう、各現業機関からの改善要望等を聞き入れ、職場改善等を確実に行われたい。

(回答)必要な設備投資は行う。

組合：今後、支社交渉が行われていくが、改善要望等には丁寧な対応をお願いしたい。

会社：了解した。

18、コンテナ料金を運賃改定したが、コンテナ留置料やトラック駐車料等、他の料金についても改定を検討しているのか明らかにされたい。

(回答)現時点、その考えはない。

組合：世間の相場を見ながら、消極的ではなく積極的な営業活動等を進めて頂きたい。

会社：了解した。

19、安全安定輸送を担保した上でコスト削減を図られたい。

(回答)安全確立は鉄道事業者としての使命であり、安全の確立の上で安定輸送の確保に真摯に努める。

組合：昨年は、脱線事故や輪軸組立不正等があり、荷主や各旅客会社からの信用を損なうこととなった。同じミスを繰り返すことのないよう安全確保に向けて真摯に努めて頂きたい。

会社：真摯に努めていきたい。

20、各支社別及び系統別の要員効率化について明らかにされたい。

(回答)要員効率化については各支社にて別途提示する。

組合：了解した。

21、支社提案のスケジュールについて明らかにされたい。

(回答)提示資料等、準備ができ次第、提案を行なう。

組合：了解した。

「運転関係」

1、要員需給について、要員不足生じないよう計画的に養成されたい。

(回答)入所試験に向けた勉強会等の支援に取り組み、新規運転士養成の入所者数を確保し、必要な要員の確保に努めていく。

組合：毎年のように言っているが改善されてない現実がある。会社の計画通りに進んでいないことも理解するが、長時間抑止等の長時間労働を解消するためにも早急をお願いしたい。

会社：カムバック制度や運転士前提採用などあらゆる採用方法を取り入れて人材獲得を進めていく。

2、女性運転士が増えてきており、更衣室・寝室・トイレ等の職場環境整備を早急に図られたい。

(回答)女性社員の従事する職場の環境改善については、実態を把握した上で適宜行っていく。

組合：環境整備が大幅に遅れをとっている。女性社員が気分よく働ける環境整備を早急に進められたい。

会社：実態を把握した上で適宜行っていく。

3、乗務員の負担軽減・お客様に良い商品を提供するため、新形式機関車の置き換え促進・電磁ブレーキ列車増を図るとともに、女性乗務員が増えていることから、機械室に簡易的なトイレを設置されたい。

(回答)必要な設備投資は行う。

組合：新形式への置き換えは進んでいると思うが、女性乗務員への配慮が十分に出来ていない。必要な設備投資は行うとあるが、何か考えていることはあるのか。

会社：必要な設備投資は行う。

4、タブレット端末の有効活用を促進されたい。

(回答)タブレット端末の活用については、ニーズも踏まえ関係する部門と連携し具体化していく。

組合：正式使用まで、どのくらいかかるのか。現時点での考えを教えてください。

会社：紙媒体との併用解消は、PRANETS への規程類のバックアップとタブレットにおける規程類の自動更新が整った上で、使用する社員の習熟状況を確認した上で解消する考えで進めている。

5、輸送障害を減らすため、鳥獣対策強化を図られたい。

(回答)引き続き、自治体等への要請を行う。

組合：長年にわたり議論しているが、なかなか解決策が見つかっていない。良い商品を提供するためにも解決しなければならない問題であり、引き続き取り組み強化をお願いしたい。

会社：忌避音など試しているが有効的な対策に至っていないため、カメラを使用した障害物検知装置など引き続き取り組んでいく。

6、目への負担軽減のため、サングラス使用を通達により正式に認められたい。

(回答)現時点、その考えはない。

組合：他の旅客会社は認めている。目に負担がかかることは医学的にも認められており、正式に認めるよう強く要請する。

会社：要望があることは理解した。

「駅関係」

1、コンテナ車の設備投資について、数年にわたり投入されていないが既存輸送機材だけで欠車を出さずに運用は確保できるのか明らかにされたい。

(回答)必要な所要数は確保している。

組合：欠車により「荷物はあるのに運べない」という状況にならないよう運用されたい。

会社：了解した。

2、手ブレーキ検知装置について、本稼働の時期を明らかにされたい。

(回答)現在、試使用期間であるが、取扱いの定着状況を見極めて本稼働時期を検討していく。

組合：試験使用で何か大きな問題がでているのか。

会社：現時点、大きな問題は発生していない。

組合：いつ頃、本稼働できるのか。

会社：本稼働時期は検討中である。

3、手ブレーキ検知装置について、自動更新の時間短縮及び手動登録をなくされたい。

(回答)可能な改修は実施する。

組合：現場の声を聞きながら進めて頂きたい。

会社：了解した。

4、駅業務教育職場及びグループ会社との人事交流の拡充の考えについて明らかにされたい。

(回答)グループ会社との人事交流は、必要に応じて適宜行っていく。

組合：JR貨物グループ全体で安全安定輸送を構築するためにも、積極的な交流を図って頂きたい。

会社：了解した。

5、コンテナの増備計画及び、コンテナ置き場の整備・確保について具体的な計画があれば明らかにされたい。

(回答)現時点では具体的な計画は未定だが、来年度以降の計画について検討中である。

組合：置き場や整備については、現場の声をよく聞いて計画を進めて頂きたい。

会社：了解した。

6、一部の駅にコンテナが滞留することで、「荷物があるのに運べない」という実態を解消するため、輸送体系を見直されたい。

(回答)コンテナ留置レイアウトの見直しにより駅のキャパシティ拡大を図る。

組合：一時期、コンテナ3段積みという話も出ていたが、安全確保を考慮して見直し等をお願いしたい。

一部の駅にコンテナが滞留するような輸送体形は解消し、常に良い商品を提供できるよう構築されたい。

会社：コンテナ3段積みは安全上の課題があり、現時点、行うことは考えていない。

引き続き、より良い輸送体系を検討していく。

7、IT-FRENSについて今後刷新する計画はあるのか明らかにされたい

(回答)現時点、明らかにするのは困難である。

組合：何か決まり次第教えて頂きたい。

会社：了解した。

8、交検余裕日数が長期化しているため短縮を図られたい。

(回答)コンテナ車の交検抜き取り計画については、コンテナ車運用と駅作業・交検発生 想定を精緻に検証したうえで、抜き取り駅を指定しており、今後も交検施行時期 までの必要日数の短縮に向けて引き続き追及していく。

組合：何か決まり次第教えて頂きたい。

会社：了解した。

9、駅作業負担軽減のため機関車運転支援システムへの列車編成通知書自動表示を早急に進められたい。

(回答)編成通知書が機関車モニターに表示されるようシステム改修を進めている。

組合：現時点、何か大きな問題は出ているのか。

会社：現時点、大きな問題は出していない。

組合：いつ頃、導入出来そうなのか。

会社：導入時期については検討中である。

10、C-COMASの補足機能は検修能力だけでなく、各駅の予備車など総合的な判断によって機能するようシステムの改修を図られたい。

(回答)現状で対処されたい。

組合：今のシステムで本当に良いのか、再度見つめ直し、現場の声を拾いながら改修をお願いしたい。

会社：要望があることは理解した。

11、コンテナ荷役作業・コンテナ積付検査・入換作業において、基本動作を厳守できる作業時間が確保されているか確認し、確保されていない場合は要員・作業ダイヤを見直されたい。

(回答)安全を最優先し、必要な時間を確保した上で作業ダイヤを作成している。

組合：支社交渉でより細かい内容が議論されるが、丁寧な対応をお願いしたい。

会社：了解した。

12、リフトオペレーターの連続作業時間を4時間以内とされたい(列車遅延時も含む)

(回答)安全を最優先し、必要な時間を確保した上で作業ダイヤを作成している。

組合：列車遅延時等は長時間労働が余儀なくされ、安全確保の観点からも現場長がしっかりと長時間労働抑止の指示できる体制を整えて頂きたい。

会社：必要な体制は整えていく。

13、駅作業員による連続作業時間を3時間以内とされたい(列車遅延時も含む)

(回答)安全を最優先し、必要な時間を確保した上で作業ダイヤを作成している。

組合：列車遅延時等は長時間労働が余儀なくされ、安全確保の観点からも現場長がしっかりと長時間労働抑止の指示できる体制を整えて頂きたい。

会社：必要な体制は整えていく。

14、輸送量増に伴い、輸送機材等の不足が発生しないようにし、輸送量増に伴う駅のキャパシティ拡大をされたい。

(回答)貨物輸送量の増加に伴って、輸送機材等が不足とならないように計画していく。

また、駅のキャパシティについては、コンテナ置留レイアウトの見直しによりキャパシティ拡大を図る。

組合：常に良い商品を提供できるように整備されたい。

会社：必要な整備は行っていく。

【検修関係】

1、コンテナ車長期運用離脱車(全検抑制など)の計画を明らかにされたい。

(回答)長期の使用休止車両については、2028年度での検査を計画するが、今後のダイヤ改正の動向に応じて対応する

組合：何かが決まり次第現場に落として頂きたい。

会社：決定次第、速やかに周知を行う。

2、C-COMASの検査配分が、適正なものになっているのか明らかにされたい。

(回答)適正に設定している。

組合：今のシステムで本当に良いのか、再度見つめ直し、現場の声を拾いながら改修をお願いしたい。

会社：引き続き検査待ちの状況確認しながらこまめに設定を行う。必要であれば改修は検討していく。

3、DF200形式の後継機について、進捗状況を明らかにされたい。

(回答)未定である。

組合：何か分かり次第教えて頂きたい。

会社：必要な情報が整い次第、質問に応じて対応していく。

4、新型コンテナ車の開発について、進捗状況を明らかにされたい。

(回答)未定である

組合：何か分かり次第教えて頂きたい。

会社：必要な情報が整い次第、質問に応じて対応していく。

以 上
